

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	西淀川区
学校名	川北小学校
学校長名	吉岡 千明

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・川北小学校では、第6学年 55名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率については、国語は、全国平均より3.7ポイント、大阪市平均より2ポイント、算数は、全国平均より2.4ポイント、大阪市平均より1ポイント低かった。令和5年度の平均正答率と比べ、全国平均との差が、国語で1.5ポイント、算数で2.1ポイント縮まり、大阪市平均との差が、国語、算数ともに3ポイント縮まった。

平均無解答率については、国語は、全国平均より2.4ポイント、大阪市平均より3.3ポイント高かったが、算数は、全国平均より0.1ポイント低く、大阪市平均より0.1ポイント高かった。

質問紙調査において、肯定的回答が全国平均・大阪市平均より高いのは、「学校に行くのは楽しいと思う」であり、「朝食を毎日食べている」、「理科の勉強が好きである」は、全国平均よりは低いが、大阪市平均より高かった。全国平均・大阪市平均より低いのは、「自分にはよいところがある」、「将来の希望（夢、目標）」、「進んで困っている人を助ける」、「国語・算数の勉強が好きである」等であった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 学習指導要領の内容別に見ると、「(2) 情報の扱い方に関する事項」では、大阪市平均を0.5ポイント、「B書くこと」では、大阪市平均を0.5ポイント上回った。全国平均と大阪市平均を下回った事項に関して、特に差が大きかったのは「C読むこと」で、全国平均より5.2ポイント、大阪市平均より4.6ポイント下回っているが、令和5年度の差と比べると全国平均は5.7ポイント、大阪市平均は5ポイント縮まり改善が見られた。差が小さかったのは、全国平均を下回った事項では、「(2) 情報の扱い方に関する事項」で、1.4ポイント下回った。大阪市平均を下回った事項では、「A話すこと・聞くこと」で、0.1ポイント下回った。今回「B書くこと」で大阪市平均を上回ったのは、令和5年度まで書く力を軸とした授業改善に取り組んできた成果であるといえる。

〔算数〕 学習指導要領の領域別に見ると、「A数と計算」で全国平均を0.4ポイント、大阪市平均を1.6ポイント上回っている。全国平均を下回った領域で特に差が大きかったのは「B図形」で、5.8ポイント下回った。大阪市平均を下回った領域では「B図形」と「C変化と関係」どちらも4.1ポイント下回った。「Dデータの活用」では、全国平均より2.3ポイント、大阪市平均より0.5ポイント下回っているが、令和5年度はそれぞれ7ポイント、5.1ポイント下回っていたため、差は大きく縮まっている。

質問調査より

「学校に行くのは楽しいと思う」(85.5%)と肯定的回答をする児童の割合は、全国平均、大阪市平均を上回った。「朝食を毎日食べている」、「理科の勉強が好き」(92.7%)と肯定的回答をする児童の割合は全国平均を下回ったが、大阪市平均を上回った。一方、「自分にはよいところがある」(65.5%)、「将来の夢や目標を持っている」(80.0%)、「人が困っているときは、進んで助ける」(89.1%)、「国語の勉強が好き」(58.2%)、「算数の勉強が好き」(52.7%)と肯定的回答をする児童の割合は、全国平均、大阪市平均を下回った。

また、調査結果から、授業におけるPC、タブレット等のICT機器の活用は一定すんでいるが、話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新しい考えに気づく学習活動については、課題があるといえる。

今後も、すべての児童が、学校が楽しい感じる教育活動を展開するとともに、児童一人一人が自己肯定感や自尊感情を高めることができるような取組や学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組むことができるような手立てを考える必要がある。

今後の取組(アクションプラン)

国語、算数とともに、個の理解度に応じた指導や学びの場を設定するなど、学びの形を工夫していくことで、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。その基礎力を土台とし、他者との対話や協働を通して、様々な課題や問い合わせを自ら発見したり、最適解や納得解を導き出したりする力を養う。

教員についても、児童が学習に取り組む中で、知的好奇心や自己肯定感を高められるよう、授業研究や研修を進めることで、教員の授業力・指導力向上に努める。

また、全教育活動において、自分のよさに気づき、他者理解を深める機会を多く設け、自他を大切にする児童を育していく。

引き続き、デジタルドリルやオンライン学習等の有効活用を図ることで、自ら計画を立てて学習する習慣を身につけさせるとともに、自主的に学びに向かう態度を育成する。

【 全体の概要 】

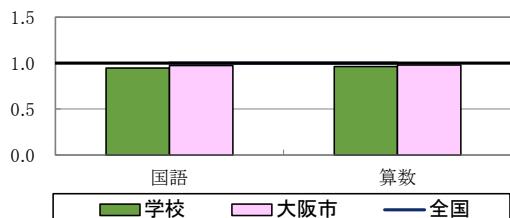
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	64	61
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

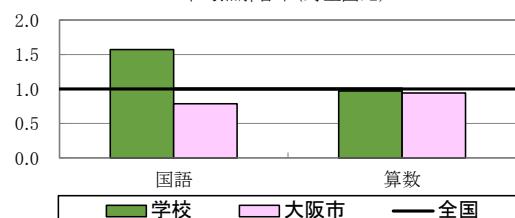
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	6.6	3.3
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



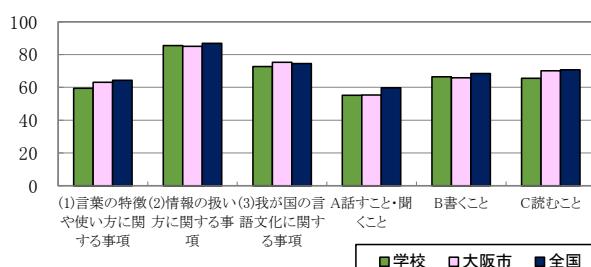
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	59.5	63.1	64.4
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	85.5	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	72.7	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	55.2	55.3	59.8
B 書くこと	2	66.4	65.9	68.4
C 読むこと	3	65.5	70.1	70.7

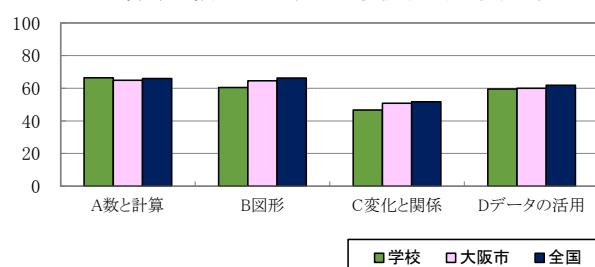
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	66.4	64.8	66.0
B 図形	4	60.5	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	46.7	50.8	51.7
D データの活用	4	59.5	60.0	61.8

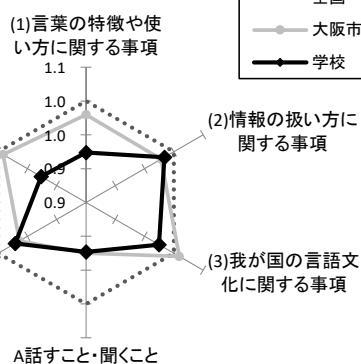
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



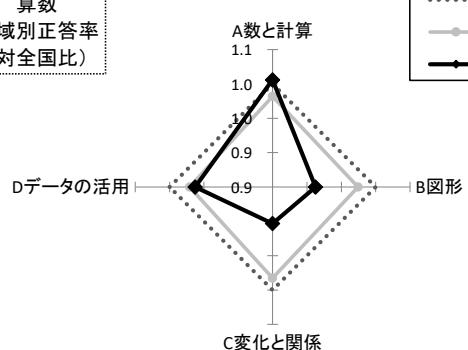
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)



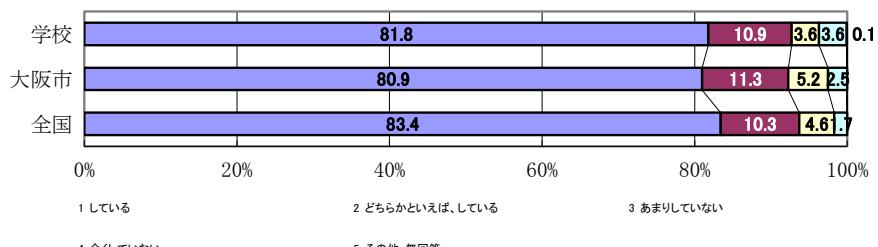
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

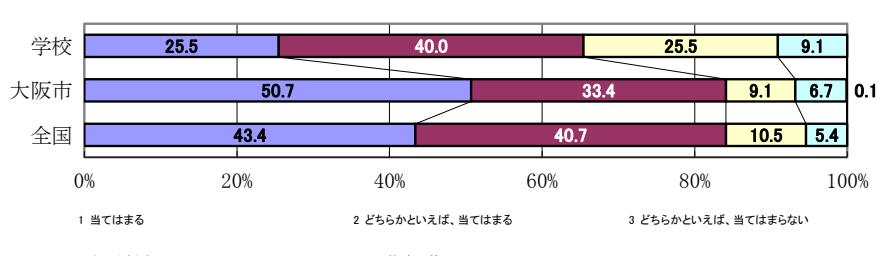
1

朝食を毎日食べていますか



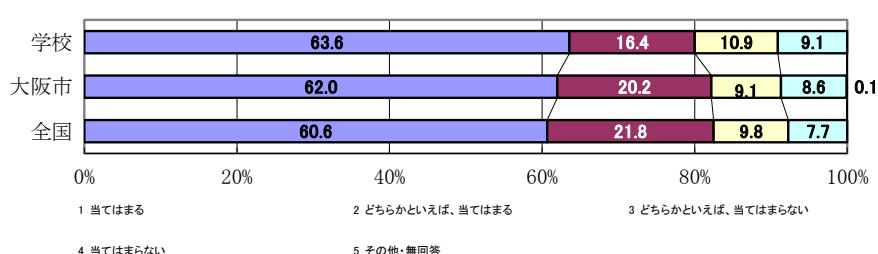
9

自分には、よいところがあると思いますか



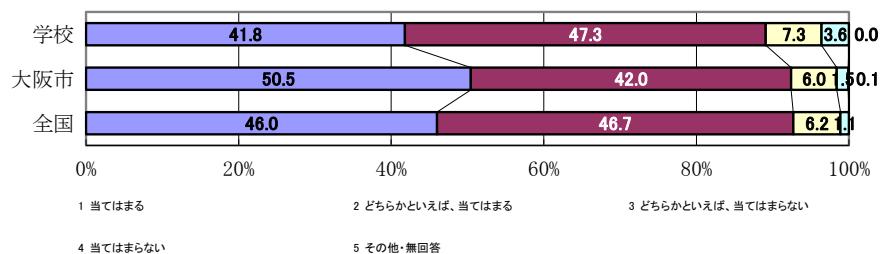
11

将来の夢や目標を持っていますか



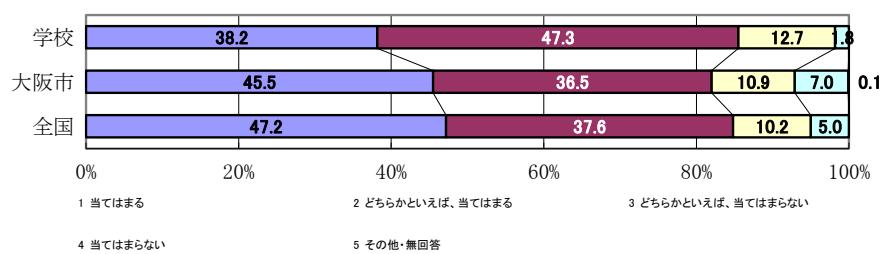
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



16

学校に行くのは楽しいと思いますか



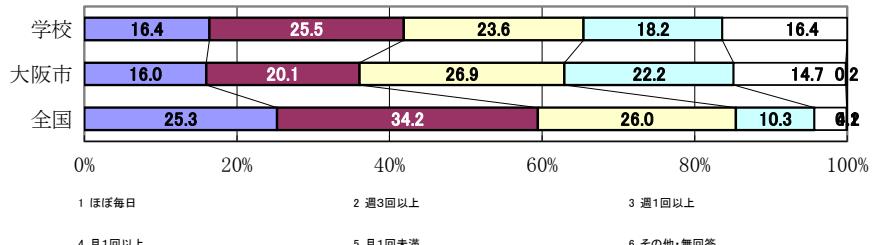
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

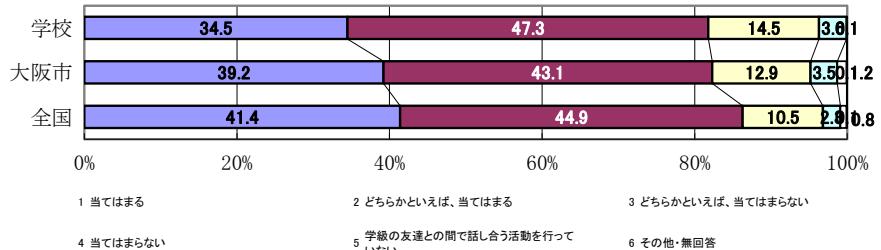
27

5年生までに受けた授業で、
PC・タブレットなどのICT機器
を、どの程度使用しましたか



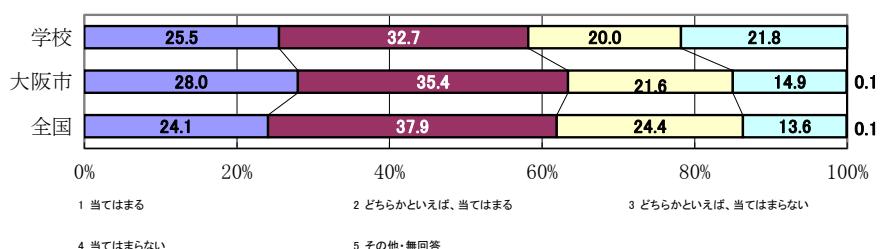
33

学級の友達との間で話し合う
活動を通じて、自分の考えを
深めたり、新たな考え方へ気
付いたりすることができていま
すか



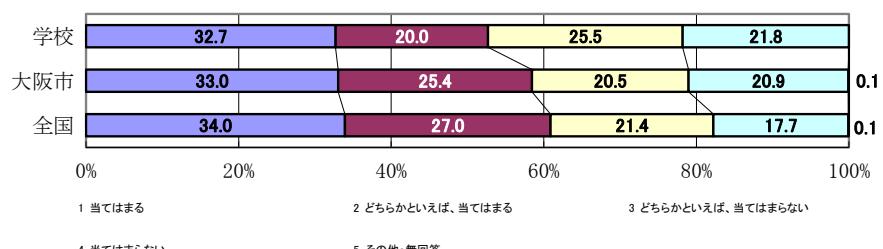
42

国語の勉強は好きですか



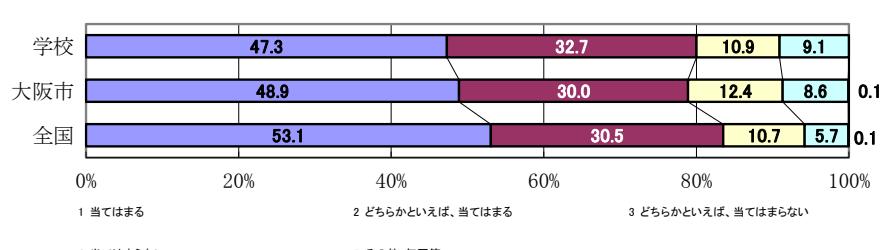
50

算数の勉強は好きですか



58

理科の勉強は好きですか



学校質問より

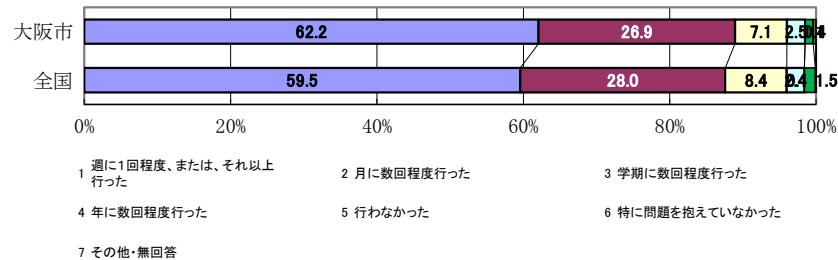
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

10

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

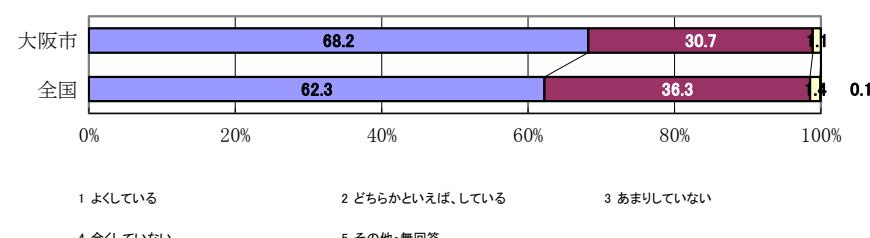
学校 「月に数回程度行った」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

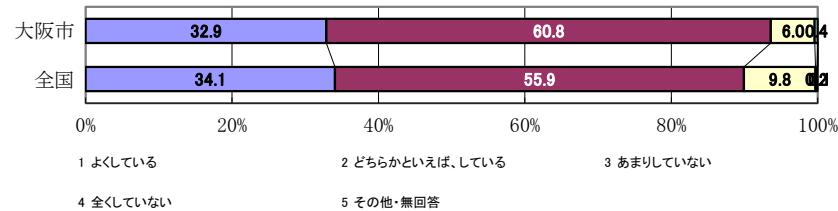
学校 「よくしている」を選択



17

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

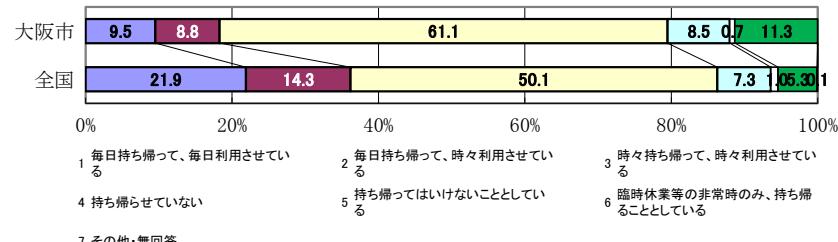
学校 「よくしている」を選択



64

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようになっていますか

学校 「時々持ち帰って、時々利用させている」を選択



76

令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)

学校 「よく行った」を選択

